

新型コロナウイルス
対策
PCR検査と飲食店支援が拡大



申し入れ書を手渡す日本共産党岡山市議団と森脇ひさきさん
東市議は左から2番目(4/5)

奔西走



瀬戸内海の与島で海ごみを拾いプラスチックごみについて考えるイベントに参加しました。

日本共産党岡山市議団は4月5日、森脇ひさき党岡山県副委員長とともに、市長にコロナ対策の第7次申し入れを行いました。
▼高齢者施設だけでなく医療機関、障害福祉施設に頻回・定期的なPCR検査を市が行うこと。▼PCR検査の大規模拡大を行うこと。▼市民の暮らし・生業への支援を早急に行う

プラスチックごみ
発生の抑制を

東市議は毎月、地元町内会での旭川河川敷のごみ拾いに加わっています。
また、4月24日にグリーンパートナーおかやまの

こと。▼ワクチン接種をより受けやすくすること。の4項目です。
市は4月から「全陽性者に変異株の検査」と「感染が発生したら、その段階で同一フロアの全員の検査」を始めています。市長は、変異株の感染力が強く(4月の新規感染の7割)、検査の範囲を拡大したと述べました。

市は4月13日、飲食店の感染防止物品(飛沫防止版、体温測定器、CO2濃度測定器、非接触消毒器)購入に5万円まで全額補助する「飲食店感染防止強化補助金」を発表しました。問合せ先は商工会議所(086-2332-2266)か市内の商工会です。
また感染拡大をうけ、高齢者施設職員の定期的なPCR検査も行います。(裏面にその他支援情報)



与島のごみ拾いに5歳の娘も参加
100人余りで270キロのゴミを
拾いましたが拾いきれない量です



海に流れ込んだプラスチックごみは生態系に悪影響を及ぼします。
岡山市はプラスチックごみを二〇二三年度から可燃ごみでなく分別回収する方針です。

ただ、海洋プラスチックを減らすには、分別の徹底やポイ捨て防止だけでなく、プラスチックの発生そのものを減らすことが必要です。

支援制度、ワクチン：コロナ対策情報

〇ひとり親支援金

制度名は「子育て世帯生活支援特別給付金」。ひとり親世帯に国が子ども一人あたり5万円、市が一家族2万円支給します。児童扶養手当を受けている世帯には5月11日に振り込まれます。それ以外の所得激減などの世帯は申請が必要です。問合せ先 一ごも福祉課 086-803-1221。

〇飲食店等一時支援金

岡山県の制度です。コロナで30%以上売り上げが減った県内の飲食店等に法人40万円、個人事業者20万円の一時金を支給します。対面販売する、飲食店と取引があればよい、法人・社会福祉法人・医療法人など法人形態を問わないなど対象が広い制度です。

〇ワクチン接種情報

岡山市は65歳以上の方がワクチンの無料接種をうけるための「接種券」を、住民票登録のある住所に発送しました。接種は5月17日から。市内315の医療機関で接種できます(集団接種会場も計画中)。かかりつけの病院で受けられます。予約が必要です。5月10日から。各病院か、下記のコールセンター、市HPからのオンライン申請で予約できます。

学費払えない

大学等修学支援制度(給付奨学金+授業料減免)
*世帯年収380万円以下(モデル世帯)が対象。コロナ減収後の見込み年収で申請可。「家計急変」は随時受付
*問い合わせは各学校、日本学生支援機構へ
学校独自の授業料減免が受けられる場合もあります



奨学金返せない

返還の減額、猶予制度
減額...年収325万円以下(個人事業主などは所得225万円以下)
猶予...年収300万円以下(個人事業主などは所得200万円以下)
*コロナでの「家計急変」は減収後の推定年収で申請可
*日本学生支援機構(奨学金相談センター) 0570(666)301



バイト代減った

休業支援・給付金
*コロナ休業した中小、大企業に勤める方
*シフト制の学生バイト、パート、日々雇用、登録型派遣など
*時短営業等で勤務時間やシフト日数が減少した方も対象
*個人で申請できます。事業主負担なし
*休業支援金・給付金コールセンター 0120(221)276



年金保険料払えない

学生納付特例制度(納付猶予)
*自身の収入が年118万円以下の学生が対象
*コロナ減収の場合は所得見込みで申請可
*ねんきんダイヤル 0570(05)1165



食料支援 予定はコチラ

情報はコチラ
民青同盟 Twitter@minseishinbun
民青は「コロナ危機から青年の命と暮らしを守ろう」と各地で行動しています。



市広報を「ご覧ください」
市広報誌「市民のひろばおかやま」5月号の2〜4面にワクチン接種など新型コロナウイルス関連情報が掲載されています。ご覧ください。

岡山市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター 0120-780-910(受付時間:土日祝を除く8:30〜17:30)

ひふじ

市議会議長が4月18日、コロナ感染をSNS上で報告しました。症状は「お腹が減らない」だけであり、「いつでも、どこでも気軽にPCR検査が受けられる環境作りが急務」と述べています。議長に接触のあった議員にPCR検査が行われましたが、議長の報告から丸一日半後でした。あまりに遅い対応で、市の保健所体制の不足を感じました。(東つよし)

